

2021年1月19日

報道関係各位

中部学院大学 通信教育部

## 今年4月 農福連携「アグリケアコース」を開講

### 農業を生かした福祉支援・援助を目指す

中部学院大学通信教育部は、農業を生かした福祉支援・援助を目指す「アグリケアコース」を今年4月に開講します。

「農業」と「福祉」の各分野の連携は近年、全国的な広がりをみせています。2019年度の国の施策においても、推進体制が強化されています。

今回新設する「アグリケアコース」は、農業関連の専門家の協力を得て、農業を生かした福祉支援や援助に必要な知見と技術、実践力を備えた人材を養成することを目的としています。

具体的には社会や地域福祉に関わる学びとともに、座学として「農業の基礎知識」「農業福祉論」があり、土づくりや肥料、病虫害対策、農業資材などの基礎知識への理解を深めたり、農業を活用した福祉支援の在り方について学んだりします。実践（スクーリング）では、「農業実践」「農福連携コーチング演習」があり、農場をフィールドとして、農業技術を習得したり、県内で農福連携に取り組んでいる施設でコーチに必要な支援の技術を学んだりします。

アグリケアコースは、正科生、科目等履修生が受講でき、単位をすべて修得した受講生には修了証を発行します。

記

「アグリケアコース」

- 開講時期 2021（令和3）年4月
- 履修対象者 2021年度4月入学者のうち、1年次入学生および科目等履修生

◎福祉施設や福祉に関わる職場に勤務し、農業を活用した対人援助や支援の実践、検討をしている人

◎子どもや高齢者、障がい者の自立支援や就労支援に携わっている人

◎農業に従事しており、障がい者や生活困窮者の雇用を実践、検討している人

◎農業と福祉の連携について興味を持っている人

以上

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学 通信教育部（担当：可児） TEL:0575-24-2287